



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

平成 31 年 1 月 7 日 (月) No. 9
横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

自ら学び社会とつながりともに未来を創る人

校長 新井 篤志

新年あけましておめでとうございます。今年も丸山台小学校の子どもたち一人ひとりにとって有意義な1年になりますように教職員一同、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今月の学校だよりのタイトルは2030年頃の未来の社会を見据えた教育の在り方を示した横浜教育ビジョン2030で掲げているこれからの横浜の教育が目指す人づくりの目標です。2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催される年から小学校は新しい学習指導要領のもとにあらたな教育活動が始まります。それも踏まえて、これからの横浜の教育の方向性を示したものです。特に、子どもたちに身に付けてほしい力を次の5つの視点(知・徳・体・公・開)で相互に関連付けながらバランスよく育むことを大切にさせていただきます。

知・徳・体・公・開の視点で丸山台小学校の教育目標も見直していきます。小学校の発達段階を踏まえつつ、将来子どもたちが社会で活躍できるように大切にしたいことを目標として考えていきます。

合わせて、丸山台中学校ブロックでは小学校と中学校の9年間で「自分づくりに関する力」を身に付けることを共通の目標としました。

配布いたします学校評価アンケートに保護者の皆様のこれからの時代に子どもたちが身に付けてほしいと考える力についてのご意見を聞かせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

先行きの予測が困難な時代に入ってきたと言われていひます。それだけに、柔軟に考え、対応できる大人になってほしいと考へます。また、選挙権に続き、成人が18歳となるのはもうすぐです。大人としてどう生きていくかが意外にも早く求められる時代になってきたと感じざるを得ないこの頃です。

横浜の教育が育む力

(知) 生きてはたらく知

- 基礎・基本を身に付け、自ら問題を発見し、よりよく解決する力
- 主体的に考え、意欲的に学び続ける力
- 知識や経験を活かし、知恵をはたらかせて生きる力

(徳) 豊かな心

- 自分を大切にし、しなやかに生きる力
- 自分を律する態度と人を思いやる優しき
- 「本物」に触れることで育む豊かな感性

(体) 健やかな体

- 自ら健康を保持増進しようとする態度
- 体力づくりを通じ、心身ともにたくましく生きる力
- 生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度

(公) 公共心と社会参画

- 自分の役割や働くことの意義を理解し、行動する力
- 横浜を愛し、地域や社会のために、他者と協働する力
- 夢や目標を持ち、よりよい社会を創造しようとする態度

(開) 未来を開く志

- 自分を見つめ、多様性を尊重し、共生する力
- グローバルな視野を持ち、持続可能な社会の実現に向けて行動する力
- 進取の精神を持ち、新たな価値を創造しようとする態度

